

れいわ ねんど
令和3年度

ぶんかげいじゅつ こどもきょうせいそうごうじぎょう じゅんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -

のう きょうげん わす
能&狂言を忘るべからず

だい ぶ
【第1部】

のうがく のう しょうかい はなし
能楽、能について紹介とお話

のうめん のうしょうぞく しょうかい たいけん
能面、能装束について紹介と体験

のう はごろも さくひんしょうかい かんしょうほうほう はなし
能『羽衣』 作品紹介と、あらすじ、鑑賞方法のお話

じょうえんきよくもく のう はごろも しまい
●上演曲目： 能『羽衣』（仕舞）

だい ぶ
【第2部】

きょうげん かきやまぶし さくひんしょうかい かんしょうほうほう はなし
狂言『柿山伏』 作品紹介と、あらすじ、鑑賞方法のお話

じょうえんきよくもく おおくらりゅうきょうげん かきやまぶし
●上演曲目：大藏流狂言『柿山伏』

きょうげん くさびら さくひんしょうかい かんしょうほうほう はなし
狂言『菌』 作品紹介と、あらすじ、鑑賞方法のお話

じょうえんきよくもく おおくらりゅうきょうげん くさびら
上演曲目：大藏流狂言『菌』

だいひょうじどう せいと きょうえん
★代表児童・生徒みなさんとの共演

いっばんしゃだんほうじんぜんちくきょうげんじむしょ
◆一般社団法人善竹狂言事務所◆

おおくらりゅうきょうげんぜんちくけ きょうげんがたはつ にんげんこくほう ぜんちくやごろう そ
大藏流狂言善竹家。狂言方初の人間国宝となった善竹彌五郎を祖とする。

おおくらりゅう きょうげん りゅうは やまとさるがくけい きょうげん つた のうがくきょうげんさいこ りゅうは
大藏流は、狂言の流派の1つで、大和猿楽系の狂言を伝える能楽狂言最古の流派。

おおくらやえもん むろまちこうき そ우리ゅう
大藏彌右衛門によって室町後期に創流された。

げんざいおおくらりゅう とうきょう ほんきよ そうけおおくらやえもんけ やまもととうじろうけ
現在大藏流には、東京を本拠とする宗家大藏彌右衛門家・山本東次郎家。

きょうと ほんきよ しげやませんごろうけ しげやまちゅうざぶろうけ おおさか こうべ ほんきよ
京都を本拠とする茂山千五郎家・茂山忠三郎家。大阪・神戸を本拠とする

ぜんちくやごろうけ ぞけ こうべ ぜんちくけ なか かんとう きよてん
善竹彌五郎家の五家があり、神戸の善竹家の中にも、関東を拠点とする

ぜんちくじゅうろうけ
善竹十郎家がある。

かた おも げいふう せんさい こま げんだい みりよく きょうげん つた
型を重んじながら、芸風は繊細で細やか。現代に魅力ある狂言を伝えるべく、

おおさか とうきょう ちゅうしん ぶたい おこな
大阪と東京を中心に舞台を行う。

ぶんかげいじゅつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゅんかいこうえんじぎょう
「文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -」

わ くに いちりゅう ぶんかげいじゅつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなどこうえん こども すぐ ぶたいげいじゅつ かんしょう きかい
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を
え こども はっそうりよく のうりよく いくせい しょうらい げいじゅつか いくせい こくみん げいじゅつかんしょうのうりよく
得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の
こうじょう もくてき
向上につなげることを目的としています。

じぜん こども じつえんしどうまたかんしょうしどう おこな じつえん こども
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たち
さんか
にも参加してもらいます。

◆公演団体：一般社団法人善竹狂言事務所 ◆制作団体：株式会社 BOX4628(ボックスよろづや)



能楽ってなに??

能楽とは、600年を超える歴史の中で独自の様式で磨き上げてきた、日本を代表する伝統芸能です。能は歌舞劇として人間の悲しみや怒り、

恋慕の思いなどが描かれています。狂言は笑いの面を受け持つ劇として洗練を重ねてきました。

両者は兄弟のようで、源は1つです。能と狂言を合わせて「能楽」といいます。

能は、謡と囃子を伴奏に、演者が能面をかけて演じます。様式化された極めて簡素な所作で物語が展開されます。

狂言は、セリフによる喜劇で、中世の庶民のくらしぶり、普遍的な人間のおかしさが描き出されていて、和やかな笑いを誘います。

能楽（能・狂言）は2008年、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。我が国においては1957年、重要無形文化財に指定されています。

能『羽衣』（仕舞）

●あらすじ●

三保の松原に住む漁師が、
松の木に引っ掛かる美しい衣を見つけます。
それは天女の羽衣で、現れた天女は、
羽衣が無いと天に帰れないと悲しみます。
漁師は天女に、舞を舞ってくれたら
羽衣を返すと言います。
天女は羽衣をまとい月世界の美しさを
称えた舞を舞うと、天高く昇っていきました。
優美な明るさ、清らかさがただよう曲です。

狂言『柿山伏』

●あらすじ●

修行の帰りにお腹が減った山伏は、
柿の木へ登り、柿を食べていました。
そこへ畑の主人が見回りに来て、
木の陰に隠れた山伏を見つけます。
主人は山伏を懲らしめようと、
動物の鳴き真似をさせます。
法力を身につけたはずの山伏は、
一体どうなってしまおうのでしょうか。

狂言『菌』

●あらすじ●

ある男の家に大きな菌が生えて、
取っても取っても生えてきます。
こまった男は、法力の強い山伏に助けを求めます。
山伏が男の家にやってきて、
菌を消そうと祈りますが、
菌は減るどころか、増えていきます。
さて山伏は菌を消すことができるのでしょうか。

